

START 03

KITOKUで できること

KITOKUには、星を知る入口、今日を整える入口、名前・関係・仕事・方位を見る入口があります。このPDFでは、最初に迷わないための全体地図を確認します。

MAP

全体像を見る

自分・関係・行動の3つの
大きな入口をつかみます。

CUSTOM

自分用に選ぶ

よく使う機能だけを毎日の
入口として保存します。

LEARN

学びに進む

PDFと動画で、必要なところから少しずつ学びます。

START 03の役割

START 01と02では、自分の星と今の流れを体験しました。START 03では、そこから先にKITOKUで何を見られるのかを整理します。深い理論はBASICへ、目的別の使い方はGUIDEへ進みます。

1. まず全体の入口を見る

トップ画面は、KITOKU全体の入口です。最初は「自分を知る」「ビジネス・人間関係を整える」「行動して運を開く」の3つに分けて見ると迷いにくくなります。

最初に見る3つの軸

- 自分を知る: 星・名前・今年の流れを確認する。
- 関係を整える: 相性、人間関係、仕事の縁を見る。
- 行動する: 方位・旅行・引越し・日取りを選ぶ。

まずは全部を使おうとしなくて大丈夫です。今の自分に必要な入口をひとつ選ぶだけで、KITOKUは使い始められます。



トップ画面の全体マップ

2. 自分専用KITOKUを作る

よく使う機能だけを選ぶと、毎日の入口が自分用に整います。仕事で使う人、方位をよく見る人、名前や関係を深く見たい人で、必要な入口は変わります。

選ぶ

使いたい機能に印をつけます。複数選んでも大丈夫です。

保存する

選んだ機能だけが、自分専用の入口に並びます。

毎日使う

よく見るものだけに絞ることで、迷わず開けます。

後で変える

必要が変わったら、編集して入れ替えられます。

プレミアムは準備中の拡張枠

プレミアムプランも選択できますが、現在は準備中です。今後、地図×方位盤や三盤比較などを深める入口として扱います。



自分専用KITOKUの選択画面

3. 迷ったら一覧から探す

「すべてのツールを見る」は、KITOKUの総合案内です。
自分専用に絞る前に、何があるのかを一度見ておくと、使い道が広がります。

一覧で確認できること

- 自分を知るための入口。
- 関係やビジネスに使う入口。
- 旅行・移動・日取りを選ぶ入口。
- Academyやプレミアムなど、学びと拡張の入口。

目的がはっきりしている時は一覧から、日常的に使うものは自分専用KITOKUから、という使い分けがおすすめです。



全体から目的の入口を探す

4. 学ぶ入口を見る

Academyは、KITOKUの使い方や考え方をPDFと動画で学ぶ入口です。STARTは体験、BASICは基礎、GUIDEは目的別の使い方として分けています。

Academyの3分類

- START: 初めての人が体験する入口。
- BASIC: 東洋思想や九星などの土台を学ぶ。
- GUIDE: 方位・名前・関係など目的別に見る。

START 03まで見れば、KITOKU全体の入口はひと通りつかめます。深く学びたい時は、このAcademyに戻ってきてください。



Academyの学びの入口

5. 深める入口を知る

Premium Compassは、より深く使うための拡張枠です。
今は準備中ですが、地図や方位盤、三盤比較、線路の日、
KIGAKU先生AIなどをまとめる場所になります。

今は「これからの拡張」として見る

- 地図と方位盤を重ねて見る。
- 年盤・月盤・日盤を比較する。
- 線路の日や吉方位を深く使う。
- KIGAKU先生AIで相談文として深掘りする。

START 03では、プレミアムを深く学ぶ必要はありません。まず「今後ここで深められる」と知っておけば十分です。



Premium Compassの入口

これからの使い方

STARTの3本で、入口は完了です

START 01で自分の星を知り、START 02で今の自分を見て、START 03でKITOKU全体の使い道をつかみます。ここまでで、KITOKUの入口はひと通り体験できます。

次に進むなら

- 考え方を学びたい時は、BASICへ。
- 方位・名前・関係・仕事など目的がある時は、GUIDEへ。
- 日々の判断に使いたい時は、自分専用KITOKUに入口を保存する。
- より深い機能は、Premium Compassの準備が整ってから確認する。

全部を使う必要はありません

KITOKUは、人生を決めつけるものではなく、自分で決めるための材料です。今必要な入口をひとつ選び、少しずつ使いながら、自分の判断を整えていきましょう。